

# 本山町総合教育会議 議事録

令和2年1月 総合教育会議

場所：プラチナセンター研修室

## (1) 開会及ぶ閉会に関する事項

開会 令和2年1月16日(木) 17時05分

閉会 令和2年1月16日(木) 18時10分

## (2) 出席者の氏名

出席者 町長 細川 博司

教育長 高橋 清人

教育委員 小野 雄基

教育委員 溝渕 有香

教育委員 前田 侯

教育委員 山内 美香

欠席者 なし

## (3) 議場に出席した者の氏名

教育次長 右城 有紀

研修指導員 鈴木 薫子

## (4) 議事等

教育長 (高橋教育長挨拶)

ただ今より、総合教育会議を開会します。(省略)

この会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4の規定により開催するものであります。

続いて、議事録署名人を選任します。小野委員、溝渕委員にお願いします。両人は同意願います。それでは町長お願いします。

### 議事内容

#### 1. 町長挨拶

細川町長 本山町が「若者に子供にやさしい町である。」という運動を進めていく。本日の総合教育会議がそれに寄与するものになるよう祈念している。

#### 2. 学校教育の状況

##### ①本町の学力について

鈴木研指 (資料を基に説明)

小6、中3を対象に実施している全国学テの結果を見ると、小6は全国平均を上回っている。中3はほぼ全国平均である

本町の弱いところは、指定された条件を基に自分の考えをまとめ、書くことに弱みがある。普段からそのことを意識させた授業改善が必要。町予算による学習支援員の配置があり大変助かっている。学力向上に向けて取り組む。

##### ②生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する状況等について

鈴木研指 (資料を基に説明)

12月までの数字になりますが、長期欠席の子供がいる状況。SC,SSWも動いていただいている。新規不登校を発生させない取り組みが重要。

いじめについては、いやな思い、ささいなケンカなどいじめとして認知している。低学年に多い傾向がある。ささいなトラブルがある。重大事態はない。暴力行為は発生していない。

細川町長 不登校を生み出さない学校、また不登校児童生徒の居場所づくりが必要である。

高橋教育長 子どもの居場所づくりを検討していきたい。

### ③令和2年度主な教育予算について

右城次長 来年度は、児童クラブ建設、デジタル教育推進、理科・算数の教材整備、小学校のデジタル教科書、学習支援員の増員などがある。

細川町長 教育行政については、要望にかなうように努めたい。

## 3. その他

### ①土佐町の教育支援センターについて

高橋教育長 現在の状況を説明。

今後、教育委員会で協議し本町の対応を決める。

### ②嶺北高校生の魅力化について

細川町長 現在土佐町が、土佐町の子供をイギリスに留学させている。私としては、魅力化の取り組みの中で、両町で協議すべきことと話してある。大川、大豊も事務費の負担をしてくれている。

今年度寮の建設を土佐町と負担し実施する。運営については法人組織を立ち上げる予定です。

高橋教育長 本町の子どもたちの留学制度については。

細川町長 今後の課題である。地域外から30人来るとなった場合本町のみで対応とはならないのではないか。今後の課題である。

### ③その他

高橋教育長 大原先生から寄贈を受けた土地が約2億円で売却できる見込みである。

細川町長 大原先生からの遺言状もあり、先生の遺志に基づき文学館の運営、大原富枝賞の継続などに活かしていく。

細川町長 今後も本町の教育行政について、共に協議をしていきたい。今後ともよろしく願います。